

基本政策1 一人ひとりが尊重され、誰もがともに活躍できる

【基本政策の方向性】

すべての市民が互いの基本的な人権を守り、一人ひとりが尊重され、個性や能力を発揮して活躍することができる“まち”を目指します。

5年後の目指す姿

「人権意識が向上したまち」

人権について考えることができる機会の拡充に努め、人権の大切さを知り、互いを尊重する市民意識の広がりを目指します。

【数値目標】	現状値	目標値
人権が侵害されることがないと回答する割合 (人権に関する意識調査)	54.7% (R1)	⇒ 60.0% (R7)

基本施策

1-1 人権教育・啓発の推進

様々な人権課題の解決に向けて、一人ひとりが互いを認め合い、尊重しあえる社会となることを目指して、人権教育・啓発活動を推進します。

【KPI】	現状値	目標値
人権の大切さを認識している割合 (人権に関する意識調査)	94.0% (R1)	⇒ 96.0% (R7)

【主な取組】 人権意識の向上

関係機関と連携を図りながら、多様な機会を通じて、継続的な啓発活動を行い、人権意識の向上に取り組めます。

【KSF】	現状値	目標値
広報による啓発等の実施回数	1回/年 (R1)	⇒ 3回/年 (R7)

1-2 男女共同参画の推進

性別に関わりなく、誰もがその個性と能力を発揮し、互いに対等なパートナーとしてあらゆる分野に参画し、ともに責任を担う男女共同参画社会の実現を目指します。

【KPI】	現状値		目標値
男女の地位が平等となっていると感じている市民の割合（男女共同参画に関する市民意識調査）	22.3%（R1）	⇒	30.0%（R7）

【主な取組】 男女共同参画意識の啓発

固定的な性別役割分担意識の解消を目指す講演会・セミナー等の実施や、学校での教育など、全世代へ男女平等・男女共同参画意識の啓発を図ります。

【KSF】	現状値		目標値
講演会・セミナー等の開催件数	3回/年（R1）	⇒	継続（R7）

関連するSDGsゴール



人の多様性を尊重するとともに、男女共同参画社会の実現に向け取り組むことで、一人ひとりの力をまちづくりに活かします。 関連ターゲット（5-1、5-2、5c）



人権の大切さを知り、互いを尊重することにより、差別をなくし人権の大切さを広めていきます。 関連ターゲット（10-3）

関連計画等

富士見市男女共同参画プラン（第4次）（令和3年度～令和12年度）

関連部署

市民生活部 人権・市民相談課